

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-245047  
(P2002-245047A)

(43) 公開日 平成14年 8 月30日 (2002. 8. 30)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード <sup>*</sup> (参考)
G 0 6 F 17/30	1 7 0	G 0 6 F 17/30	1 7 0 B 5 B 0 5 0
	1 1 0		1 1 0 F 5 B 0 7 5
17/60	3 3 0	17/60	3 3 0
G 0 6 T 1/00	2 0 0	G 0 6 T 1/00	2 0 0 D

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2001-39062(P2001-39062)  
(22) 出願日 平成13年 2 月15日 (2001. 2. 15)

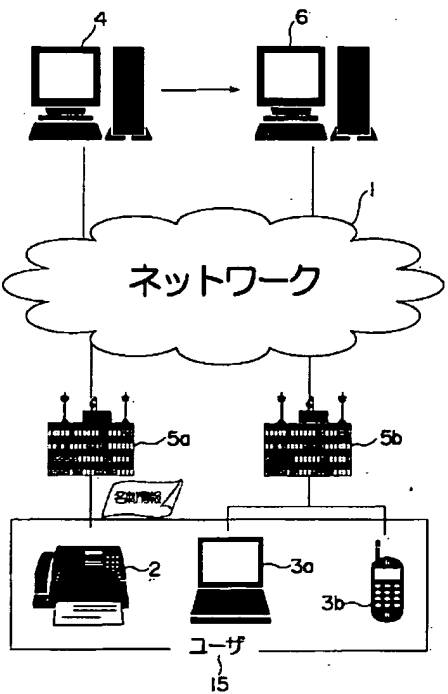
(71) 出願人 501064664  
株式会社テック・リンク  
東京都渋谷区広尾五丁目19番 9 号  
(72) 発明者 黄 曉  
東京都渋谷区広尾五丁目19番 9 号 株式会  
社テック・リンク内  
(74) 代理人 100089244  
弁理士 遠山 勉 (外 3 名)  
F ターム (参考) 5B050 AA08 AA10 BA10 BA16 BA20  
CA08 EA00 FA19 GA08  
5B075 KK07 KK13 KK33 KK37 ND03  
ND06 ND20 ND23 NK10 NK13  
NK24 NK31 PP02 PP12 PP30  
PQ02 PQ05 UU10

(54) 【発明の名称】 名刺情報管理方法及びプログラム

(57) 【要約】

【課題】 本発明の名刺情報管理方法及びプログラムは、名刺情報の管理を容易にし、かつ複数端末間で統一的な管理が可能で利用時の検索即応性も高い名刺情報の管理を実現することを課題とする。

【解決手段】 ネットワークに接続されたユーザ 1 5 側の画像読み取り装置 2 から名刺画像 1 7 を受信するステップと、受信された名刺画像 1 7 の少なくとも一部の情報を文字等のコード情報に変換して名刺画像 1 7 と関連づけて所定のデータベースに登録するステップと、ネットワーク 1 に接続された検索端末 3 からの検索コードを受け付けるステップと、受け付けた検索コードに基づいてデータベースを検索するステップと、検索された名刺画像 1 7 を前記検索端末 3 に返信するステップとを含むことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ネットワークに接続された画像読み取り装置からの名刺画像を受信するステップと、受信された名刺画像の少なくとも一部の情報をコード情報に変換して前記名刺画像と関連づけて所定のデータベースに登録するステップと、

ネットワークに接続された検索端末からの検索コードを受け付けるステップと、

受け付けた検索コードに基づいて前記所定のデータベースを検索するステップと、

検索された名刺画像を前記検索端末に返信するステップと、からなる名刺管理サーバによる名刺情報管理方法。

【請求項2】ネットワークに接続された画像読み取り装置からの名刺画像を受信するステップと、

受信された名刺画像の少なくとも一部の情報をコード情報に変換して前記名刺画像と関連づけて所定のデータベースに登録するステップと、

ネットワークに接続された検索端末からの検索コードを受け付けるステップと、

受け付けた検索コードに基づいて前記所定のデータベースを検索するステップと、

検出された名刺画像を前記検索端末に返信するステップと、を実行する名刺管理サーバにおける名刺管理プログラム。

【請求項3】前記に加えて、前記名刺画像を受信して所定のデータベースへ登録毎に課金情報を課金サーバに出力するステップをさらに有する請求項1に記載の名刺管理サーバによる名刺情報管理方法。

【請求項4】前記に加えて、検索端末からの検索コード受付毎に課金情報を課金サーバに出力するステップをさらに有する請求項1に記載の名刺管理サーバによる名刺情報管理方法。

【請求項5】前記所定のデータベース内に登録された名刺情報は、複数の検索端末からアクセス可能であることを特徴とする請求項1に記載の名刺情報管理サーバによる名刺情報管理方法。

【請求項6】前記所定のデータベース内に登録された名刺情報を元にし、名刺の名義人宛への配送物の指示を出力するステップを有することを特徴とする請求項1に記載の名刺管理センタサーバによる名刺情報管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ネットワークを利用し名刺情報を管理する名刺情報管理方法及び名刺情報管理プログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の名刺管理方法としては、取得した紙媒体の名刺を、箱や管理ファイルに格納して、「あいうえお順」或いは「アルファベット順」にインデックスを付して管理することが一般的であった。

【0003】このような紙媒体での名刺管理には収容スペースや検索の即応性に問題があることから、パーソナルコンピュータを用いた名刺管理が行われるようになってきている。

【0004】例えば、マイクロソフト社のアウトLOOKやロータス社のオーガナイザと呼ばれる個人情報管理アプリケーションを用いて名刺情報の管理を行う場合、人が目視で読み取りながらキーボード等の入力手段を用いて名刺の各項目情報をコード情報化し、その名刺情報を端末の記憶装置(メモリ)に一時的に記憶するといった方法がとられていた。このような方法により、多量な名刺情報をたった一つの端末にて整理できるようになった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところで、このようなコンピュータを用いた名刺管理は、以下のような煩雑な作業を、端末の所有者であるユーザに要求するものとなっていた。

【0006】第一に、キーボードを用いて端末に名刺情報を入力するには、名刺の各項目情報をコード化して管理するために、後日の検索性は向上するものの、名刺項目情報のすべてをキーボード入力することはユーザの作業量が多くなってしまふ。加えて、名刺そのものを大量に所有している場合には、ユーザ個人による入力作業そのものが事実上困難となり、入力代行等の手段を用いざるを得なかった。

【0007】第二に、入力された名刺データは単一のパーソナルコンピュータでしか利用できないため、外出時に前記情報の蓄積されたパーソナルコンピュータを所持できないような場合には、蓄積した名刺管理情報を利用することができなかった。

【0008】この第二の問題点については、パーソナルコンピュータに蓄積された名刺情報を、外出時に所持する携帯電話の電話帳機能やPDA(Personal Data Assistant)と呼ばれるモバイルコンピュータのメモリに複製することも当然に考えられる。

【0009】しかし、名刺情報に変更があった場合、例えば名刺名義人の退職、転勤、昇進があった場合にはパーソナルコンピュータ、携帯電話、PDAのそれぞれのメモリに蓄積されていた名刺情報の内容を更新しなければならぬ。そして、何れかの端末で名刺情報の更新をし忘れた場合は、端末間で名刺情報が矛盾してしまい、統一的な名刺管理が不可能であった。また、名刺情報の内容を端末毎にその都度更新する作業は、非常に面倒な作業であった。

【0010】さらに、パーソナルコンピュータや携帯電話やPDA等の端末内に記憶された名刺情報を他の端末に移し替える場合においても、端末の機種同士の相性や互換性が問題となり、容易に名刺情報を移し替えること

ができなかった。

【0011】そこで、本発明は上述したような問題点に鑑みてなされたものであり、その解決しようとする課題は、名刺情報の管理を容易にし、かつ複数端末間で統一的な管理が可能で利用時の検索即応性も高い名刺情報管理方法を実現することにある。

【0012】また、本発明の課題は、名刺情報の管理を容易にし、かつ複数端末間で統一的な管理が可能であり、利用時の検索即応性も高い名刺情報の管理を、各種端末によって実行可能とする名刺情報管理プログラムを提供することにある。

【0013】

【課題を解決するための手段】本発明は、前記課題を解決するために以下の手段を採用した。

【0014】本発明の名刺情報管理方法は、名刺情報を提供する名刺情報提供側と名刺情報を管理する名刺情報管理側との間に好適に適用される。提供された名刺の画像データは、文字データへと変換され、この文字データと画像データは関連づけられて名刺情報管理側へ登録される。

【0015】そして、名刺情報提供者が、登録された名刺情報の検索を要求をすると、前記文字データにより作成されたインデックスから検索を行い、名刺情報提供者により要求された名刺の画像データを返信する。

【0016】このような手段を採用することにより、名刺情報提供側は名刺情報管理側に容易に名刺情報を提供することができる。さらに、名刺情報提供側は、名刺情報管理側により管理されている名刺情報を端末から得ることができる。

【0017】また、名刺情報は名刺情報管理側によって管理されているため、端末の故障や端末の変更などにより名刺情報を失う虞をなくすることが可能となる。

【0018】また、画像データが文字データに変換されるため、従来、人為的な作業によって名刺情報を入力していた分の時間を大幅に短縮することができるようになる。勿論、人為的な作業が省略されるため、名刺情報提供側としては、容易に名刺情報を入力することができるようになる。

【0019】

【発明の実施の形態】本発明の名刺情報管理方法は、ネットワークを介して接続された名刺管理側と名刺情報提供側との間に好適に適用される。以下、本明細書中では、ネットワークにはインターネットを適用し、名刺管理側を管理サーバとし、名刺情報提供側をユーザとして説明する。

【0020】図1に示すように、本発明の名刺情報管理方法における管理サーバ4は、ネットワーク1に接続されたユーザ15側の画像読み取り装置2から図3に示す名刺画像17を受信するステップと、受信された名刺画像17の少なくとも一部の情報を文字等のコード情報に

変換して前記名刺画像17と関連づけて所定のデータベースに登録するステップと、ネットワーク1に接続された検索端末3からの検索コードを受け付けるステップと、受け付けた検索コードに基づいて前記データベースを検索するステップと、検索された名刺画像17を前記検索端末3に返信するステップとを含む。

【0021】以下、本発明の名刺情報管理方法の実施形態を図面に基いて説明する。まず初めに、本発明の名刺情報管理方法のシステム構成を説明する。本発明の名刺情報管理方法は、名刺情報を提供するユーザ15と名刺情報を管理する管理サーバ4とが、インターネット1を介して接続されている。尚、本説明中では、ユーザ15側の画像読み取り装置2を通信機能を有するスキャナとし、ネットワーク1をインターネット（TCP/IP）によるデータ通信網）として説明する。

【0022】前記ユーザ15は、名刺を図3に示す画像データ17として読み込み、その画像データ17を管理サーバ4へ送信する画像読み取り装置2と、提供した名刺情報を検索するための検索端末3とを有する。前記画像読み取り装置2として、FAX（Facsimile）や、インターネット1等へ通信可能なスキャナ等が挙げられる。

【0023】また、前記検索端末3として、通信機能を有するコンピュータ端末3aや携帯電話3b等を挙げることができる。尚、検索端末3は、直接ネットワーク1に接続できるもの、図1に示すような各種基地局5を経由してネットワーク1に接続するもの等、ネットワーク1に接続可能なものであれば何れのものであっても良い。

【0024】次に、本発明の実施の形態に係る管理サーバ4のハードウェア構成の説明を行う。図2に示すように、管理サーバ4は、プログラムやデータを記憶するROM（Read Only Memory）7と、ROM7に記憶されたプログラムを実行する中央処理装置（CPU：Central Processing Unit、以下CPUと称す）8と、CPU8で処理されるプログラムやデータを一時的に記憶するRAM（Random Access Memory）9と、CPU8で処理されるプログラムやデータを記憶するハードディスク10と、CPU8からの指令に従い、ネットワーク1を介して通信データを送受信する通信インターフェース11と、ユーザ15にCPU8の処理結果を表示する表示装置12と、緒データを入力するための入力装置13とがバス（BUS）を介して接続されている。

【0025】また、前記表示装置12としては、CRT（Cathode-ray Tube：陰極線管）ディスプレイや液晶ディスプレイの他、プリンタ装置等を用いることができる。

【0026】さらに、前記入力装置13としては、キーボードやテンキーの他マウス等を用いることができる。

【0027】このようなハードウェア構成により、管理サーバ4のCPU8は、インターネット1及び通信インターフェース11を介してユーザ15からの名刺情報の送受信を行う。

【0028】また、ユーザ15から提供される名刺情報は、ユーザ15がスキャナ等の画像読み取り装置2により読み込んだ図3に示す画像データ17である。CPU8はこの画像データ17を受信すると、OCR (Optical Character Reader: 光学的文字読み取り) プログラムで当該画像データ17を文字コードに変換する。そして、変換された文字コードは、テキスト変換されハードディスク10内に文字データとして格納されるとともに、図3に示すように、画像データ17と関連づけられて格納される。

【0029】次に、上述した構成を踏まえて本発明における管理サーバ4側の名刺情報管理方法の手順を図4に示すフローチャートに基づき説明する。

【0030】まず、図1に示す管理サーバ4は、ユーザ15からネットワーク1を介して送信される名刺情報の受信を待つ(S01)。次に、管理サーバ4は、ユーザ15からの名刺情報を受信する(S02)と、送信元のアドレス等からアクセスしているユーザ15を確認する(S03)。このときのユーザ15の特定は画像読み取り装置2がFAXである場合、当該FAXの発呼電話番号によって行っても良い。尚、ユーザ15は、名刺情報を登録する際に、予めユーザ登録を行う必要がある。このユーザ登録は、アドレスやパスワード等を登録し、ユーザ15とユーザ15の端末(検索端末3)とを特定し、不正アクセスが行われないようにすればよい。ユーザ登録の方法は限定されないとする。

【0031】そして、図3に示すように、ユーザ登録を行うことにより管理サーバ4のハードディスク10内にユーザ15のアドレスを元にしたユーザ15個人の名刺ボックス(ユーザ領域)16が作成される。そのため、管理サーバ4側が送信元のアドレスを得ると、そのアドレスに対応した名刺ボックス16(すなわち当該ユーザ15に割り当てられたユーザ領域)を検出する。

【0032】次に、ユーザ15から送信された新しい名刺情報の入力を開始する(S04)。まずは、スキャナ2にて読み込まれた画像データ17を前記アドレスの名刺ボックス16内に格納する(S05)。

【0033】さらに、OCRプログラムにより前記画像データ17を文字コード化したものをテキスト形式に変換する(S06)。そして、テキスト形式に変換された文字データと画像データ17の内容に変更があるか否かをユーザ15に確認する(S07)。

【0034】そしてユーザ15からその内容に変更がないという指示がきた場合、文字データを見出しとして画像データ17と関連づけた後、名刺ボックス16内に格納する(S08)。

【0035】また、その内容に情報の追加等の変更があるという指示がきた場合は、ユーザ15が修正した名刺情報の受信を待つ(S09)。ユーザ15による名刺情報の変更作業は、ユーザ15側の検索端末3における入力装置13から直接行くと好ましい。

【0036】さらに、変更された名刺情報を受信すると、ステップ07に戻り、再度ユーザ15に名刺情報の内容確認を問う。尚、ステップ07→ステップ09の手順は、名刺情報に修正がなくなるまで行われる。そして、名刺情報の変更作業が完全に終了した後、文字データを見出しとし画像データ17と関連付け名刺ボックス16内に格納する(S08)。

【0037】このときテキスト形式に変換するのは名刺の全情報である必要はなく、個人名、会社名などの一部の情報のみであっても良い。

【0038】次に、ユーザ15が登録した名刺情報を検索するときの手順を図5に示すフローチャートに基づいて説明する。

【0039】まず初めに、ユーザ15からのアクセスを待つ(S20)。次に図1に示す管理サーバ4のCPU8が受信を確認する(S21)と、ユーザ15のアドレス等を確認し、ユーザ15であることを確認する(S22)。ユーザ確認が終わると、そのユーザ15のアドレスにより、図3に示す所定の名刺ボックス16をハードディスク10内から検索する(S23)。

【0040】また、ここでのユーザ15における名刺情報の検索は、名刺の画像データ17から変換された文字データを利用して作成されるインデックスにより容易に行うことができる。このインデックスの種類は様々なものが考えられる。このインデックスの種類として、例えば、個人名や会社名等の五十音順やアルファベット順、更には電話番号や住所順等を例示できる。また、名刺の対象が会社や企業である場合は、役職や階層順のインデックスを作成しても良い。

【0041】そして、名刺ボックス16に登録された名刺情報の中から、ユーザ15によって指定されたインデックスの文字(データ)を検索コードとして名刺情報を読み出す(S24)。さらに、読み出された名刺情報をユーザ15側の検索端末3へ送信する(S25)。尚、ユーザ15側の検索端末3が画像データ17を表示できる画像表示装置12を搭載していない場合は、文字データのみ送信してもよい。

【0042】以上のような構成により、ユーザ15はインターネット1を利用し、場所や時間を選ばず名刺情報を得ることができる。つまり本発明の名刺情報管理方法によれば、海外にいても登録されている名刺情報をユーザ15の検索端末3により得ることができる。

【0043】また、インターネット1を介して管理サーバ4に名刺情報が登録されているため、ユーザ15側の検索端末3の機種や種類に依存することなく名刺情報を

得ることができる。

【0044】さらに、管理サーバ4が受信した名刺画像17の少なくとも一部の情報を文字等のコード情報に変換して名刺画像17と関連づけてデータベースに登録するため、そのコード情報を利用してインデックスを作成することができる。

【0045】これによって、名刺情報をインデックス順に区分けすることができるため、ユーザ15は名刺情報を容易に検索することができる。

【0046】＜第2の実施形態＞さらに本発明の名刺情報管理方法は、第1の実施形態で述べた名刺情報管理方法のステップに加え、ユーザ15により提供された名刺情報を受信してデータベースへ登録するごとに課金情報を図1に示す課金サーバ6へ出力するステップを有しても良いとする。

【0047】前記課金の内容は、データベースにユーザ15個人個人のエリアを作成し、個人の名刺ボックス16を開設する開設費用と、登録した名刺情報の数に応じて支払う登録費用等が含まれる。尚、名刺情報の登録費用はネットワーク1にインターネットを利用する場合、無料としても良い。

【0048】そこで、本発明の名刺情報管理方法が課金サーバ6を備える場合における、課金手順を図6、図7に示すフローチャートに基づき説明する。尚、名刺情報の入力手順は上述した第1の実施形態と同様であり、説明の便宜を図るため説明を簡略化する。

【0049】まず、図1に示す管理サーバ4は、ユーザ15からネットワーク1を介して送信される名刺情報の受信を待つ（S30）。次に、管理サーバ4は、ユーザ15からの名刺情報を受信する（S31）と送信元のアドレス等からアクセスしているユーザ15を特定する（S32）。

【0050】次に、ユーザ15から送信された新しい名刺情報の入力を開始する（S33）。まずは、スキャナ2にて読み込まれた図3に示す画像データ17を前記アドレスの図3に示す所定の名刺ボックス16内に格納する（S34）。

【0051】そして、OCRプログラムにより前記画像データ17を文字コード化したものをテキスト形式に変換する（S35）。そして、テキスト形式に変換された文字データと画像データ17の内容に変更があるか否かをユーザ15に確認する（S36）。ユーザ15から文字データ及び画像データ17の内容に変更がないという指示がきた場合、文字データを見出しとし画像データ17と関連づけた後、名刺ボックス16内に格納する（S37）。

【0052】また、文字データ及び画像データ17の内容に情報の追加等の変更があるという指示がきた場合は、ユーザ15が変更した名刺情報の受信を待つ（S38）。そして、ユーザ15により完全に変更作業の終了

した名刺情報を受信すると、文字データを見出しとし画像データ17と関連づけた後、名刺ボックス16内に格納する（S37）。

【0053】名刺情報の登録終了後、登録が終了したことを図1に示す課金サーバ6へ知らせる（S39）。すると、課金サーバ6は、名刺情報の登録にかかった総費用を課金する（S40）。

【0054】そして、課金サーバ6は、名刺情報登録時にかかった総費用の内容を示す課金情報を通告する（S41）。尚、この課金情報は、ユーザ15が課金サーバ6にアクセスして得るようにしてもよいし、課金されるたびに課金サーバ6から通知されるようにしてもよい。以上の手順により、ユーザ15が名刺情報を登録する際に課金される。

【0055】また、本発明の名刺情報管理方法は、ユーザ15が検索端末3から要求した検索コードを管理サーバ4が受け付ける毎に、上述したような課金サーバ6へ課金情報を出力するステップを有する。以下、課金情報を課金サーバ6へ出力する手順を図8に示すフローチャートに基づいて説明する。尚、名刺情報の入力手順は第1の実施形態と同様であり、説明の便宜を図るため説明を簡略化する。

【0056】まず初めに、図1に示す管理サーバ4は、ユーザ15からのアクセスを待つ（S50）。次に管理サーバ4のCPU8が受信を確認する（S51）と、ユーザ15のアドレス等を確認しユーザ15であることを確認する（S52）。ユーザ確認が終わると、そのユーザ15のアドレスにより、図3に示す所定の名刺ボックス16をハードディスク10内から検索する（S53）。

【0057】そして、名刺ボックス16に登録された名刺情報の中から、ユーザ15によって指定されたインデックスの文字（データ）を検索コードとして、指定された名刺の画像データ17を読み出す（S54）。さらに、読み出された名刺情報をユーザ15の検索端末3へ送信する（S55）。

【0058】さらに、ユーザ15から名刺情報の検索要求がなく検索が終了されると、管理サーバ4から図1に示す課金サーバ6へ名刺情報の検索が終了したことを通知する（S56）。すると、課金サーバ6は、提供した名刺情報の量に応じて課金を行う（S57）。

【0059】またこの他にも、ユーザ15が月毎或いは年毎に一定額の契約料を支払い、契約期間中はどれだけ名刺情報を検索しようともそれ以上の課金は行われないような課金システムとしてもよい。

【0060】さらにまた、課金サーバ6により管理される課金情報は、何らかの方法でユーザ15に通告される（S58）。例えば、一か月に検索した名刺情報の費用を合計した金額を月毎にメールや郵便物等によりユーザ15へ通知したり、名刺情報の検索が終了する度に課金

サーバ6からユーザ15の検索端末3に料金を表示する等、様々な方法が考えられる。

【0061】<第3の実施形態>本実施の形態では、名前、住所、電話番号等の名刺情報の他に、名刺の名義人の転属、昇進、転職等、顧客関連情報を付加し、更新するようにした。

【0062】以下、上述した顧客関連情報を入力及び登録する手順を図9のフローチャートに示す。尚、本実施の形態においても第1の実施形態と同様に、ネットワーク1をインターネット（TCP/IPによるデータ通信網）とし、ユーザ15側の画像読み取り装置2に通信機能を有するスキャナを用いることとして説明する。

【0063】まず、図1に示す管理サーバ4は、ユーザ15からネットワーク1を介して送信される名刺情報の受信を待つ（S60）。そして、管理サーバ4がユーザ15からの名刺情報を受信する（S61）と送信元のアドレス等からアクセスしているユーザ15を確認する（S62）。尚、画像読み取り装置2がFAXである場合、当該FAXの発呼電話番号によってユーザ15の確認を行っても良い。

【0064】次に、受信した名刺情報の入力を開始する（S63）。まず、スキャナ2にて読み込まれた図3に示す画像データ17をOCRプログラムにより文字コード化したものをテキスト形式に変換する（S64）。

【0065】そして、受信した名刺情報が既に登録されている名刺情報と一致するか否かを判断する（S65）。一致している場合は作業を終了する。

【0066】また、受信した名刺情報が以前登録した名刺情報と一致していない場合は、第1の実施形態で述べた図4に示すフローチャートのステップ06以降の手順を踏み、以前登録した名刺情報を新しい名刺情報へと書き換える（S66）。

【0067】新しい名刺情報への書き換えは、新しい名刺情報を登録する場合と同様に、画像読み取り装置2により読み取られた画像データ17を、OCRプログラムにより文字コードに変換する。そして、文字コードをテキスト形式に変換し、画像データ17と関連づけて図3に示すハードディスク10内の名刺ボックス16に格納する。

【0068】上述したように、一度登録した名刺情報を自動的に新しい名刺情報に書き換えることができるため、ユーザ15の手を煩わせることなく常に新しい名刺情報を登録しておくことが可能となる。尚、名刺の名義人が同一であって一度登録した名刺情報は残しつつ、新しい名刺情報を新規で登録するようにしてもよい。

【0069】さらに、本発明の名刺情報管理方法における第1の実施形態、第2の実施形態、第3の実施形態各々に共通して実行可能な機能として、管理サーバ4における所定のデータベース内に登録された名刺情報は複数の検索端末3からアクセス可能であることが挙げられ

る。

【0070】つまり、ユーザ15が名刺情報をデータベース内に登録した際に開設される名刺ボックス16を、複数のユーザ15と共有することができる。例えば、ユーザ15を一会社全体とした場合、その会社内の社員は開設された名刺ボックス16を自由に利用することができる。その他にも、ユーザ15を同窓生全体とした場合、同窓生全員が開設された名刺ボックス16を利用することができる等、様々な場合が考えられる。

【0071】そしてこれに伴い、本発明の名刺情報管理方法は、所定のデータベース内に登録された名刺情報を元に、管理サーバ4が名刺の名義人宛へ配送物の指示を出力するステップを有することもできる。管理サーバ4は、ユーザ15から配送の依頼を受けると、その依頼を配送業者へネットワークを介して通知する。配送物としては、お中元やお歳暮、或いは年賀状や諸通知、誕生日プレゼント、近火見舞い等様々な配送物が挙げられる。

【0072】このような配送物の配送代行や発送物の発送代行は、予め登録されている名刺情報を元にして配送及び発送されるため、配送物や発送物を送る側は、配送先の宛名や住所を伝票に記入する手間が省ける。さらに、配送及び発送先の宛名や住所を間違える虞も少なくなる。

【0073】また、第1の実施形態、第2の実施形態、第3の実施形態では、名刺情報管理方法として説明したが、本発明の名刺情報管理方法は、ネットワーク1に接続された画像読み取り装置2からの名刺画像（画像データ17）を管理サーバ4が受信するステップと、受信された名刺画像17の少なくとも一部の情報をコード情報に変換して前記名刺画像17と関連づけてデータベースに登録するステップと、ネットワーク1に接続されたユーザ15側の検索端末3からの検索コードを受け付けるステップと、受け付けた検索コードに基づいて前記データベースを検索するステップと、検出された名刺画像17を前記検索端末3に返信するステップとを、コンピュータ端末や携帯端末等により実行可能とするプログラムであっても良い。

【0074】

【発明の効果】本発明の名刺情報管理方法及びプログラムによれば、名刺情報の管理を容易にし、かつ複数端末間で統一的な管理が可能で利用時の検索即応性も高い名刺情報管理を行うことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の名刺情報管理方法のシステム構成図を示す。

【図2】 管理サーバのハードウェア構成図を示す。

【図3】 本発明における文字コードと画像データとの関連付けの図を示す。

【図4】 本発明の第1の実施形態に係る名刺情報管理

方法の名刺情報登録手順のフローチャートを示す。

【図5】 本発明の第1の実施形態に係る名刺情報管理方法の名刺情報検索手順のフローチャートを示す。

【図6】 本発明の第2の実施形態に係る名刺情報管理方法における名刺情報登録時の課金手順のフローチャートを示す。

【図7】 本発明の第2の実施形態に係る名刺情報管理方法における名刺情報登録時の課金手順のフローチャートを示す。

【図8】 本発明の第2の実施形態に係る名刺情報管理方法における名刺情報検索時の課金手順のフローチャートを示す。

【図9】 本発明の第3の実施形態に係る名刺情報管理方法の名刺情報書き換え手順のフローチャートを示す。

【符号の説明】

1 ネットワーク（インターネット）

2 画像読み取り装置（スキャナ）

3 検索端末

4 管理サーバ（名刺管理側）

5 基地局

6 課金サーバ

7 ROM

8 CPU

9 RAM

10 ハードディスク

11 通信インターフェース

12 表示装置

13 入力装置

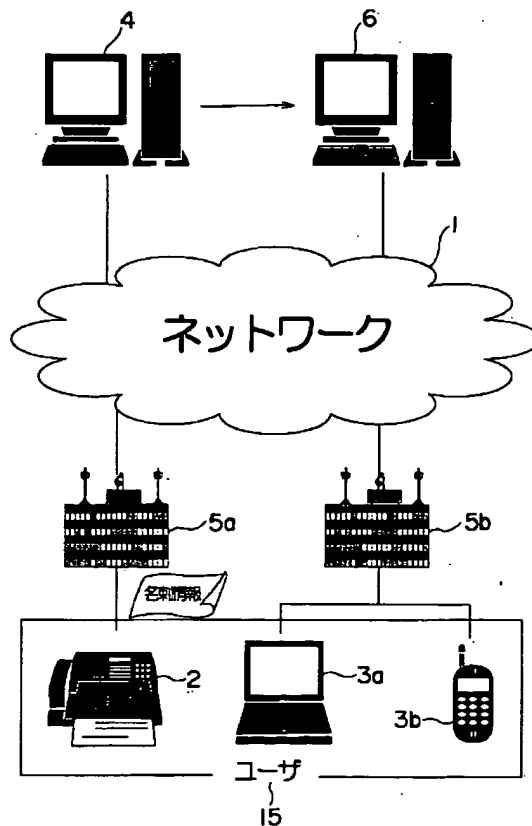
14 BUS（バス）

15 ユーザ（名刺情報提供側）

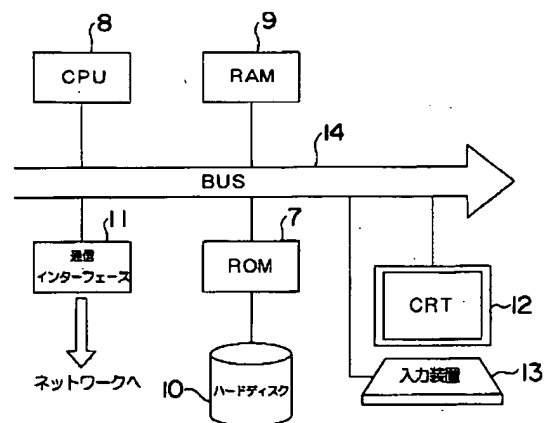
16 名刺ボックス（ユーザ領域）

17 名刺画像（画像データ）

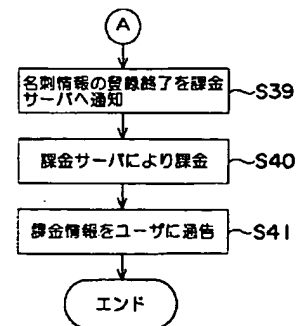
【図1】



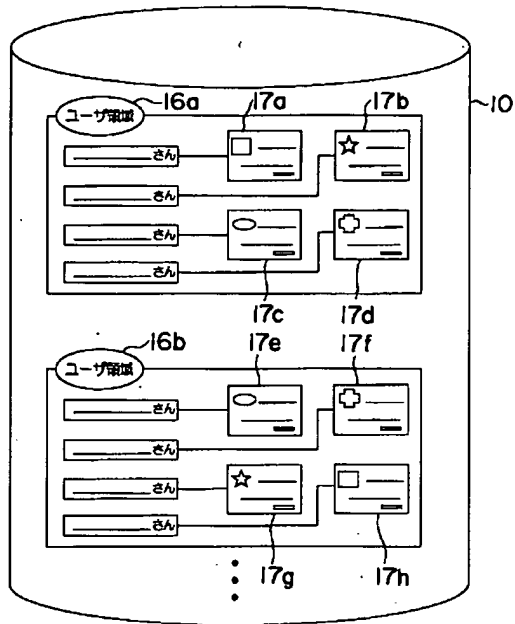
【図2】



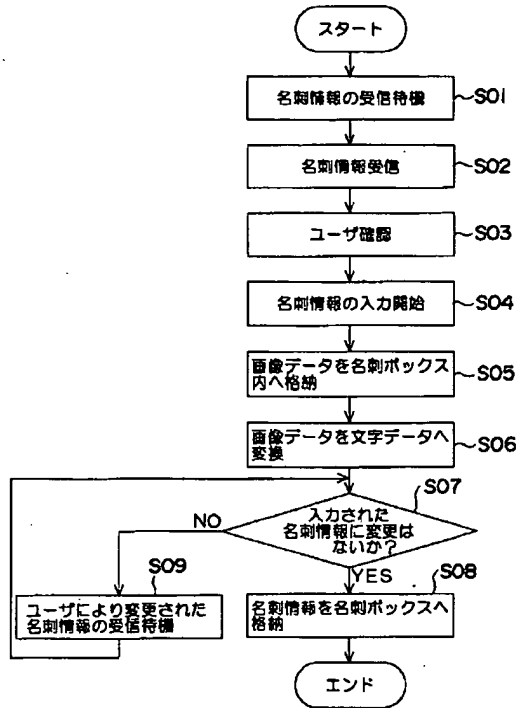
【図7】



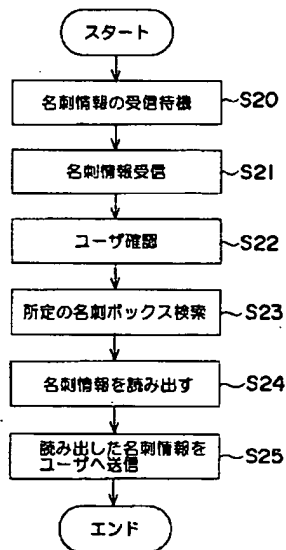
【図3】



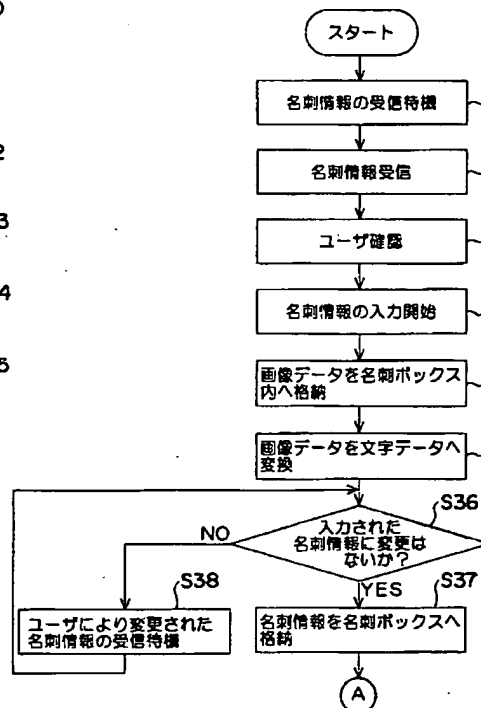
【図4】



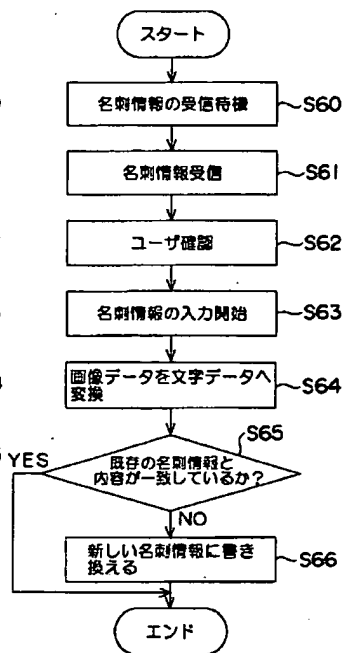
【図5】



【図6】

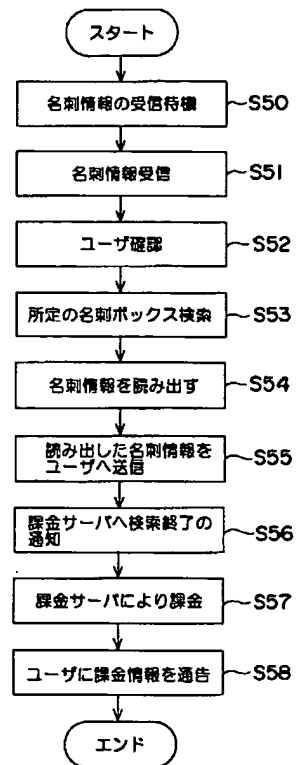


【図9】





【図8】



A5

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-245047

(43)Date of publication of application : 30.08.2002

(51)Int.Cl. G06F 17/30  
G06F 17/60  
G06T 1/00

(21)Application number : 2001-039062 (71)Applicant : TECH LINK:KK

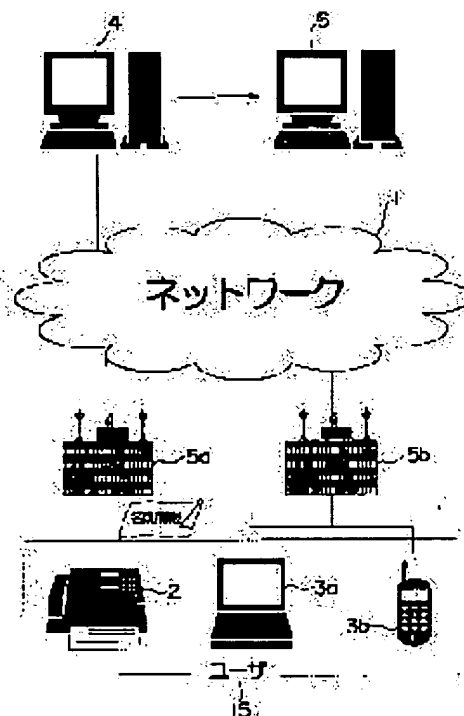
(22)Date of filing : 15.02.2001 (72)Inventor : KO AKIRA

## (54) BUSINESS CARD INFORMATION MANAGING METHOD AND PROGRAM

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate the management of business card information, to uniformly manage information among a plurality of terminals and to manage business card information having high retrieval readiness in a business card information managing method and a program.

SOLUTION: The method includes a step for receiving a business card image 17 from the image reader 2 of a user 15 side connected to a network, a step for converting a part of information on the received business card image 17 into code information of a character and the like and registering it in a prescribed database in relation to the business card image 17, a step for receiving a retrieval code from a retrieval terminal 3 connected to the network 1, a step for retrieving the database based on the received retrieval code and a step for returning the retrieved business card image 17 to the retrieval terminal 3.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than  
the examiner's decision of rejection or  
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office